

国語科学習指導案(第50回広島県学校図書館研究大会公開授業)

大竹市立大竹中学校

指導者 須藤 敏清

- 1 日 時 平成18年10月17日(火) 9:30~10:20
- 2 学年・学級 第3学年2組 習熟度別発展クラス19名(男子8名,女子11名)
- 3 場 所 本校図書館(校舎2階)
- 4 単 元 名 主張を書こう 図書や新聞を活用して材料を集めよう

5 単元について

(1) 単元観

今日、日本では国際化・高度情報化が一層進んでいる。その中でこれから生徒たちは、社会生活の中にある様々な問題や、意見が対立するような多くの場面に直面することが想定される。そこで、義務教育の最終段階において、自分の意見を主張するための説得力のある論理的な文章を書く力を培うことは、これからの社会人としての資質を養う上でも重要なことであると考えられる。

学習指導要領においても、第2学年及び第3学年の「書くこと」の目標には「様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせる」ことが示されている。本単元は、この目標の達成に向けてこれまで学習してきたことの集大成となるものである。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、入学当初から毎時間の自己評価を5文80字以上の文章で書くよう指導されてきた。そのため、ある程度まとまった字数の文章を短時間で書くことができる生徒が多い。

しかし、自分の意見を筋道立てて書いたり話したりすることは苦手な生徒が多い。また、全体の場で自分の意見を述べることに消極的な生徒が多い。その原因として、論理的に述べる方法を習得していないことや生徒同士が関わり合う学習の環境になり得ていなかったことなどが考えられる。

(3) 指導観

これまでの意見文(主張文)の指導では、B領域「書くこと」の指導事項のうち、文章に書き表す段階の指導事項であるウ「構成」・エ「記述」・オ「推敲」の指導に重点を置くことが多かった。しかし、今回の学習では、記述前の段階の指導事項ア「発想や認識」を重視した学習活動を行いたい。ア「発想や認識」では、社会生活を営む上で解決すべき課題を見付ける力や材料を収集・整理して課題に対する認識を深める力の育成が求められている。これらの力は、主体的で視野の広い主張が行えるようにするために重要な力であると考えられる。

生徒観で述べたような現状を受けての「書くこと」の指導は、基本的な事柄を丁寧に指導することが必要である。そうして基礎的な事柄を身につけさせれば、自分の主張の正しさを論理的な文章

にまとめ、読み手を説得するおもしろさをつかませることができ、自分の意見を積極的に述べようとする意欲にもつながると考える。

また、今回の学習では1グループ3人の小グループで学習を進める。お互いが学び合い評価し合うことで、高まり合っていくことを実感させ、積極的に学習に取り組む意欲をもたせたい。

6 図書館の活用・利用について

今年度、生徒の読書に対する姿勢は、毎日の「朝読」でほとんどの生徒が読書に集中しており、また休憩時間等にも読書に親しむ生徒の姿が見られるようになった。これは、図書館の本を朝読用に学級文庫としてまとめて貸し出すなどの工夫の成果と考えられる。図書館の利用についても、昨年度から委員会活動を中心とした取組みを積極的に行い、図書館の利用者は増加している。このように、「読書センター」としての図書館の活用・利用がようやく高まってきた状態である。

本校図書館の課題は、「学習・情報センター」としての利用が非常に少ないことである。その理由として、主に次の2点が考えられる。

本校図書館は「学習・情報センター」としての蔵書が古く、また蔵書数が少ない。

図書館を利用して行われる学習が少なく、情報を収集する方法の学習や定着が進んでいない。

そこで、については、今年度各教科・領域の学習に必要な図書の購入を進めるとともに、NIEの指定を受けて図書館に新聞コーナーを設け、新聞からの情報が得られるようにした。さらに、資料の不足を補うために、市立図書館から必要な図書を借りてきて授業を行う取組みを始めた教科もある。

また、については、今年度各教科・領域で図書館を利用した授業づくりに取り組んだ。今回の授業においても、本校図書館の図書や新聞を利用したり、市立図書館を利用したりして、情報を収集する方法を学習する。

なお、今回の授業におけるインターネットの利用は、サーチエンジンによる情報の検索や収集は行わず、市立図書館の蔵書検索のみを行う。それは、今回の学習では、図書館を利用して情報を収集できるようにすることをねらいとしているからである。インターネットを利用することの長所や注意点等についての指導は、今後検討していく必要がある。

7 単元の目標

材料を収集したり文章に書き表したりする方法を知り、その方法を用いて進んで学習活動を行う。また、推敲や相互評価に積極的に取り組む。

【国語への関心・意欲・態度】

設定した題材について材料を収集して認識を深め、自分の立場とその根拠を明らかにし、筋道の通った論理の展開を工夫して、主張を述べる文章を書く。

【学習指導要領関連指導事項 B「書くこと」ア・イ・エ】

お互いの文章についてよく吟味・理解し、参考にして役立てることのできる相互評価を行う。

【学習指導要領関連指導事項 B「書くこと」カ】

文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて、自分の文章に誤りがないかを確かめる。

【学習指導要領関連指導事項〔言語事項〕(1)オ】

8 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
材料を収集したり文章に書き表したりする方法を知り、それを用いて積極的に学習活動を行っている。また、相互評価に積極的に取り組んでいる。	<p>社会生活全般に目を向けて様々な問題に気付き、書くべき課題（題材）を見付けるとともに、材料を収集・整理して認識を深めている。</p> <p>自分の立場とそれを支える根拠を明確にしている。</p> <p>基本的な論理の展開法をもとにして、論理の展開が読み手に分かりやすい文章を書いている。</p> <p>結論に導くための根拠の取り上げ方や述べ方、そのための材料の活用の仕方などについてよく吟味して理解し、文章の結論への導き方が正しく行われているかどうか相互評価する。</p>	文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて、自分の文章に誤りがないかを確かめる。

9 学習指導計画（全9時間）

次	学習内容（時数）	評 価				
		関心	書く	言語	評価規準	
一	社会生活全般に目を向けて様々な問題に気付き、グループごとに題材を見付ける。（1）				・プレゼンテーションや新聞記事からの抜き書きを通して様々な問題に気付き、その中から題材を見付けている。	学習プリント
	広い範囲から材料を集め、整理して認識を深める。（2） 本時... 1/2				・物事には多様な視点があることを理解し、図書・新聞などから材料を集め、整理して、題材についての認識を深めている。	カード 観察
	自分の主張を明確にし、その根拠となる事実や事柄を明確にする。（1）				・題材についての自分の立場とそれを支える根拠を明確にしている。	学習プリント
二	これまでの学習をもとに、構想表をつくる。（1）				・構想表の作り方や構成法について理解している。	学習プリント
	構想表にしたがって記述し、推敲、清書する。（3）				<p>・基本的な論理の展開法をもとにして、論理の展開が読み手に分かりやすい文章を書いている。</p> <p>・文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて、自分の文章に誤りがないかを確かめる。</p>	作品
三	作品を読み合い、評価カードを用いて相互評価する。（1）				・評価カードの項目にしたがって適切に評価できている。	評価カード

10 本時の展開（2時間目 / 9時間）

（1）本時の目標

物事には多様な視点があることを理解したうえで、自分たちの課題に対する認識を深めるための材料を収集する。

(2) 観点別評価規準

材料を収集するための学習活動に積極的に取り組んでいる。

【国語への関心・意欲・態度】

グループ内で分担して図書や新聞などから自分たちの課題に関する材料を収集している。

【B「書くこと」A】

(3) 学習展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	具体の評価規準	評価方法
導 入	<p>前時の学習を想起し、各グループの題材を確認する。</p> <p>本時の目標と学習内容を知る。</p>	<p>前時の自己評価カードの記述などを紹介し、想起させる。</p>		
展 開	<p>物事の見方には多様な視点があることを理解し、それらを知ったうえで自分の意見を持つことの大切さを知る。</p> <p>課題に対する認識を深め、説得力のある根拠を得るために、多くの情報を集める。</p>	<p>新聞を複数紙用いて、同じ出来事に関する新聞記事を比較し、とらえ方の違いについて考えさせる。(時事問題について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を判断し、自分の意見を持つためには、その材料となる情報が多いほどよいことをおさえる。 <p>自分のグループの課題に関する情報を、役割分担して集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の図書、図書室に保管してある新聞、インターネットによる市立図書館の蔵書の検索を分担する。 ・カードに書き取らせる。 ・各グループの状況を全体に発表させる。 ・市立図書館の蔵書の検索で見つけた本を借りてくるように指示する。 	<p>グループ内の話し合いや分担された役割に積極的に取り組んでいる。</p> <p>図書や新聞などから自分たちの課題に関する材料を収集したり、関連する図書を検索して見付けたりしている。</p>	<p>観察</p> <p>カード</p>
ま と め	<p>本時のまとめと次時の学習の確認をする。</p>	<p>自己評価カードに本時で学んだことを書かせる。</p> <p>次時は材料を整理し、課題に対する見方や考え方をまとめることを予告する。</p>		